

東京都依頼調査報告書

1. 調査内容：海外諸都市のロックダウン等の決定・解除要件についての情報収集

新型コロナウイルス感染症対策のため、英国（イングランド）・ドイツ連邦共和国（ベルリン）のロックダウンやロックダウン未滿の制限措置（現在実施中又は直近で実施したもの）に係る実施の決定及び解除の判断基準について調査いただきたい。

2. 調査結果

(1) 英国（イングランド）

ロックダウンおよび関連措置の実施に関する決定は、科学専門家（主に緊急事態のための[科学諮問グループ](#)および合同バイオセキュリティセンター）の助言に基づき、英国の閣僚がケースバイケースで行っており、制限措置等の動機や基準、理由については、必ずしも明確ではない。

昨年第1次ロックダウン緩和の際には、英国政府は「5つのテスト」を発表した¹。

- 1：NHSがひっ迫しないよう、NHSのキャパシティを強化すること
- 2：死亡者数を持続的かつ一貫して減少させること。
- 3：感染率を管理可能なレベルまでさらに低下させること。
- 4：既存の対策に変更を加えたり、新たな対策を講じたりした結果も含めて、NHSが将来の需要に対応できることを確信できること。
- 5：現行の対策を調整することで、NHSを圧迫するような感染症の第2のピークを招かないことを確信できること。

しかしながら、英国政府がロックダウンの意思決定において科学的助言をどのように利用したのかという調査²（2021年1月）では、ロックダウンの決定方法に関する明確な原則がないことを、多くの専門家から批判されている。また、新型コロナウイルス対応における政府の透明性と説明責任に関する英国議会の調査³（2021年3月）においても、どの閣僚がロックダウ

¹ [Foreign Secretary's statement on coronavirus \(COVID-19\): 5 May 2020 - GOV.UK \(www.gov.uk\)](#)

² covid-19 に対する英国の対応：科学的助言の活用（**The UK response to covid-19: use of scientific advice**）[The UK response to covid-19: use of scientific advice - Science and Technology Committee - House of Commons \(parliament.uk\)](#)

³ Covid 19 における政府の透明性とアカウンタビリティ：意思決定を支えるデータ（**Government transparency and accountability during Covid 19: The data underpinning decisions**）[Government transparency and accountability during Covid 19: The data underpinning decisions - Public Administration and Constitutional Affairs Committee - House of Commons \(parliament.uk\)](#)

ン措置の発動と解除を決定する責任を負っていたのか、またその根拠となったデータは何だったのかということに焦点が当てられたが、閣僚レベルでの意思決定のガバナンスについて透明性を欠いていることが浮き彫りになった。

現在のロックダウン緩和に関しては、「[COVID-19 RESPONSE – SPRING 2021](#)」において、4段階緩和のロードマップを示しており、制限緩和への判断は、日付ではなく最新のデータに基づいて決定されると表している。地域的に大きな差がない場合、政府はイングランド全体で同時に規制を緩和する見通しである。ただし、各ステップに進む前に、政府は、下記の4つのテスト及び、最新のデータを基に検討することとしている⁴。

- 1：ワクチン導入プログラムが正常に続行されること
- 2：ワクチン接種を受けた人の入院や死亡を減少に効果があることを示す証拠があること
- 3：NHSに圧力がかかる感染率ではないこと
- 4：新しい変異種によって、リスク評価が根本的に変更されることがないこと。

(2) ドイツ連邦共和国（ベルリン）

ドイツ国内における規制の実施・緩和に対する動機や評価基準は、過去7日間の人口10万人当たりの新規感染者数が重要な要素となっている。

2021年3月初旬、連邦政府と16の連邦州は、新型コロナウイルスの新規感染者数に応じて、各州のロックダウン措置を徐々に緩和（5段階緩和）することを合意した⁵。

ただし、過去7日間の人口10万人あたりの新規感染者数が3日連続で100人を超えた場合、各州は地域ごとに店舗の閉鎖や集会の制限などの封鎖措置を強化する「非常ブレーキ」を導入することになっていたが、一部の州は本ブレーキを導入せず、結果的に規制の緩い州と厳しい州が混在することになった。

ベルリンでは、2021年3月下旬、過去7日間の人口10万人当たりの新規感染者数が3日連続で100を超えたものの州政府は「非常ブレーキ」を発動せず。しかし、感染者数の増加が続いていることを受け、本ブレーキを発動し、2021年5月9日まで現行の行政令の延長することとなった⁶。

⁴ [COVID-19 RESPONSE – SPRING 2021 P25](#)

⁵ 連邦政府のHP：[Öffnungsperspektive in fünf Schritten \(bundesregierung.de\)](#) ※5段階緩和策の翻訳版：JETROビジネス短信「[ロックダウン延長するも、経済再開に向け段階的な緩和措置を発表 2021年03月08日](#)」https://www.jetro.go.jp/view_interface.php?blockId=31546322

⁶ベルリン州のHP：[Second Ordinance on Measures Required to Protect the Population from Infections with the SARS-CoV-2 Coronavirus \(Second SARS-CoV-2 Infection Protection Measures Ordinance – 2. InfSchMV\) From March 4, 2021 - Berlin.de](#)

このような事態を受け、連邦議会は 2021 年 4 月 21 日、ルールや必要な措置を統一化する連邦法を承認した（2021 年 6 月 30 日まで有効となる見込み。）。この法律では、過去 7 日間の人口 10 万人あたりの新規感染者数が 3 日連続で 100 を超えた場合、ただちに、接触制限、外出禁止令、店舗や学校の閉鎖が適用されることになり、全国で同じルールが導入される⁷。このことから、ベルリンも、感染状況によっては、本連邦法が適用されることになるだろう。

⁷ <https://www.dw.com/en/bundestag-approves-national-coronavirus-rules/a-57272234>